



コスモス

睦月

No.9

【知】進んで学びよく考える子 【徳】明るく思いやりのある子 【体】たくましくねばり強い子



吹上小の自慢

校長 荻野 浩

明けまして おめでとうございます。

昨年も、保護者の皆様、地域の皆様の温かいご理解とご支援により、充実した教育活動を進めることができました。深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

子どもたちは、17日間の冬休みを終え、今日から学年のまとめとなる3学期を迎えました。3学期は、51日間（6年生は49日間）と短いですが、勉強や生活のまとめを行い、進級に備えて心も体も準備する大事な時期です。特に、6年生にとっては、小学校生活6年間の総まとめと、中学校進学を控える重要な学期となります。期待と不安を抱えることもあります。大事なことは、「今を精一杯頑張ること」「目の前の課題に全力で取り組むこと」「あきらめず、投げ出さないこと」です。先のことをあれこれと、必要以上に心配したり、不安感を募ったりするのではなく、自分にできること、今やるべきことをしっかりやり遂げることで、卒業までの日々を、充実したものにして欲しいと願っています。

保護者の皆様の温かい叱咤激励が、全校児童の力となり意欲に繋がります。また、地域の皆様の熱い期待が、子どもたちの励みとなります。教職員も、全力で子どもたちの指導にあたって参りますので、ご理解・ご支援のほど、よろしく願いいたします。



吹上小の自慢「6年生」

私は、年末年始の合間に、これまで撮りためていたTVドラマやスポーツなどを見て、録画データの整理と共に、心のリフレッシュをすることができました。

襷をつなぐ駅伝、ワンプレーに全力を尽くす高校生や大学生の姿、人気のドラマ等、振り返ってみると、見ていたものには「人」に関わるものが多く、その姿・言葉によって、自分の心が動くことが多かったと感じています。

中でも強く印象に残っているのが、「私の自慢のお母さんなんだから」という言葉です。我が子とは正面からぶつかり合いながらも、何事に対しても全力で立ち向かう母の姿に勇気もらい、自分も前を向いて頑張っていこうとする主人公を見ていると、思わず熱いものがこみ上げ、私自身も嬉しくなっていました。

2学期、吹上小でも、誇ることでできる児童の姿がありました。コロナ禍において実施した6年生の修学旅行での出来事です。

林間学校に行けなかった6年生にとってこの修学旅行は、初めての宿泊学習でした。団体行動の場合、どうしても気を付けなくてはならないのが、集まり方や時間を守ること（規律）です。しかしながら、赤帽子の6年生たちは、無言で集合・集合時刻厳守に取り組み、他の観光客や見学者に迷惑をかけることなく、全員が規律正しい態度で行動していました。

また、お世話になるホテルの方への挨拶や、食事の仕方・感謝の言葉等、自分たちで考え、率先して実践していました。ホテルの方からは、「これまでに会ったこともない素晴らしい態度の皆さんです。」とお褒めの言葉をいただきました。

『相手に伝わるあいさつ』に取り組んでいる吹上小としては、とても嬉しい言葉であり、他に誇ることでできる6年生の姿だと言えます。日頃から、考え・実践していることが、このような素敵姿に繋がっているのだと思います。

吹上小の自慢・6年生の姿をお手本に、まとめの3学期・寅年を頑張っていきましょう。